

まちづくりワークショップ～20年後のつくばを考えよう～ 開催ニュースレター

第3次つくば市都市計画マスタープラン・第2次つくば市立地適正化計画策定に当たり、市民のみなさまの意見を反映するため、令和4年10月22日から30日にかけて、『～20年後のつくばを考えよう～』というテーマで、市民ワークショップを開催いたしました。

● 開催概要 ●

「地域のこれからのまちづくりについて話がしたい!」、「地域の課題を共有したい!」といった地域住民の方や地域に精通された方、「地域の皆さんがまちづくりをどんなふう考えているか知りたい」といった大学生など、地域のあらゆる世代の皆さんが集い、ワークショップに参加してくださいました。

第1回

荃崎地区・谷田部地区対象

10月22日(土) 13:30～15:30

参加者: 荃崎地区<7名>

そのほか、ご都合の合わなかった1名の方から、第4回開催時にご意見を頂きました。

会場: 荃崎交流センター大会議室

第2回

筑波地区・大穂地区対象

10月29日(土) 10:00～12:00

参加者: 筑波地区<2名>

大穂地区<1名>

会場: 大穂交流センター研修室



第3回

学園地区・桜地区対象

10月30日(日) 10:00～12:00

参加者: 学園地区<6名>

桜地区 <2名>

会場: つくば市役所会議室201

第4回

豊里地区・TX沿線地区対象

10月30日(日) 14:00～16:00

参加者: 豊里地区<2名>

TX沿線地区<5名※>

※葛城地区(研究学園駅周辺) 4名・萱丸地区(みどりの駅周辺) 1名

会場: つくば市役所会議室201

進め方

- ① 市の現状・課題・地域活動の重要性の説明【30分】
- ② 地域の将来像に関するグループワーク・意見交換【60分】
- ③ 意見紹介【10分】
- ④ 総括【10分】

第1回 ワークショップにて頂いた主なご意見【荃崎地区・谷田部地区】

地区の強み × 活用

- 荃崎地区は日本一便利な農村。地域の持つポテンシャルは高い。(荃崎)
- 風光明媚な牛久沼を使った観光資源活用を推進すべき。(荃崎)
- 耕作放棄地や空き家が活用できると良い。(荃崎)
- 地域活動が盛んな地区もあるのでもっと市街地周辺の既存集落の住民、若者を巻き込めると良い。(荃崎)

地区の弱み × 改善

- まちとしては概成していることから、今後は各インフラの適切な修繕が課題。(荃崎)
- 生活圏は学園地区(つくば駅周辺)・葛城地区(研究学園駅周辺)より牛久とのつながりが強いが、地区によってはアクセス性に課題。(荃崎)
- 世代間のコミュニケーション・世代交代が課題。(荃崎)
- 荃崎は団地開発による人口増を経て、高齢化問題に直面するなど、今後、つくば市が迎えるであろう問題に先回りしている。荃崎での取組が市全域での実験モデルとなる。(荃崎)



第 2 回 ワークショップにて頂いた主なご意見 【筑波地区・大穂地区】

地区の強み × 活用

- 筑波山や宝篋山は人気。名産品を扱う店舗や市中心部との間に観光拠点ができると地域振興につながる。（筑波）
- 歴史的な街並みと魅力的なお店がある。市街地にも宿泊施設があると日帰りだけでなく楽しめるのでは。（筑波）
- 農道を使ったロボットの実験など、周辺市街地でも新技術を使ったスマートなまちづくりができると良い。（筑波）
- 筑穂・花畑は飲食店や商業機能が充実し、歩いて生活できる。（大穂）
- 吉沼は下妻との連携が強く、生活に必要なものがある程度揃い、名店もある。（大穂）
- 旧大穂庁舎がバスの結節点となっているので、市北部への交通ハブ拠点となっている。（大穂）

地区の弱み × 改善

- 市街化調整区域でもメリハリをつけ、自然を生かした宿泊施設や農業体験施設を立地させ、耕作放棄地等を活用できると良い。（筑波）
- 道路が狭く、駐車場も少ないため資源を活用できていない。（筑波）
- 交通ハブ拠点機能を高めるようにつくバスの路線設定に反映し、もっと活用できると良い。（大穂）
- 県道土浦大曾根線が東大通りの抜け道となっており危険。都市マスの構想路線にある東西方向の道路が必要。（大穂）



第 3 回 ワークショップにて頂いた主なご意見 【学園地区・桜地区】

地区の強み × 活用

- 緑のほか公園やペDESTリアンデッキが魅力。賑わい、楽しさとの共生をはかりたい。（学園）
- ITを活用しながら「つくばブランド」をはぐくむことが必要。（学園）
- 都市開発が活発な中で、行政や市民等が価値観を共有できると良い。（学園）
- 四季を感じる自然風景は価値があるので保全すべき。桜川をきれいにし観光資源としたい。（桜）
- 栄市街地には人気の飲食店がある。活性化協議会の活動がもっと盛り上がり、多様な人が参加すると良い。（桜）

地区の弱み × 改善

- 進学や就職で様々な人や文化の流入があるが、世代ごとにつながれず、コミュニティが希薄。地域同士のつながりもないため、互いの郷土や風土の理解を深められると良い。（学園）
- 場所間の交通の接続性が悪く、車がないと生活できない。（学園）
- 未利用地や空き家が多く、全域が浸水想定区域のため、洪水への早急な対応が必要。（桜）
- 既存集落では後継ぎのいない家や空き家が増えており、人口が減少する市街化調整区域内の集落のあり方を早急に検討する必要がある。（桜）
- 土浦学園線沿いなどの市街化調整区域に立地する施設等が景観や環境を阻害している。（桜）



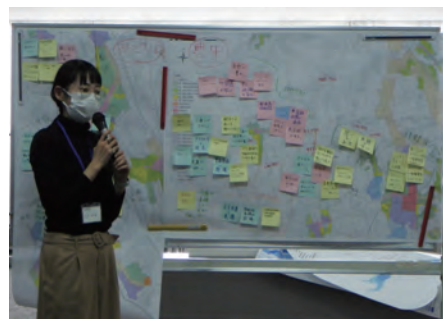
第4回 ワークショップにて頂いた主なご意見【豊里地区・TX沿線地区】

地区の強み × 活用

- 災害に強く、生活に必要な施設がそろい、地価が安いのに住みやすい。（豊里）
- 自然が豊かで筑波山がきれいに見えるスポットがある。景観が良い。（豊里）
- 日頃から研究に触れている人が多く、新しいことについての抵抗が少ない。（TX葛城）
- 新しいまちであり、日常の買い物は歩いて済ませられるのが良い。（TX萱丸）
- 筑波山や富士山が見える丘など、魅力的な地域資源を守りたい。（TX萱丸）

地区の弱み × 改善

- 歩道の幅が狭いので、高齢者にも歩きたくなるまちとして楽しめるようにしたい。（豊里）
- 進学等を機に出て行った人が、戻りたくなくなるような住みやすいまちづくりを進めたい。（豊里）
- バスの利便性（本数、運行時間等）が確保されていないため、都市交通が未発達で車を持たない人は暮らしにくい。つくチャリなどもっと様々な交通サービスがあると良い。（TX葛城）
- 地域で協力して景観を維持し、住宅地の価値を高め、空き家化を未然に防ぎたい。（TX葛城）
- 今は若い年代の住民が多いが、20年後のオールドタウン化が懸念される。今の子供たちが成長しても住み続けたい。戻ってきたくなくなるようなまちづくりが必要。（TX萱丸）



参加者の皆さまからいただいた全体を通してのご意見

■市域全体

- 筑波山は市域全体を通し愛着の対象となっている。
- 人口に対して面積が広く、インフラの投資効率が非常に悪く、上下水道や道路の整備後、全ての維持管理ができるかが課題。線引きや立地適正化計画による適正な規制誘導が必要。
- 公共施設等の計画的な更新が必要。計画にも明示すべき。
- つくバスは地域の拠点までの直行路線と、バス停の間隔を狭めた利便性を確保する路線に分けるなど、利便性の向上が必要。
- 交流センターがもっとオープンな雰囲気を持ち、気軽に行ける交流の場となると良い。

■計画全体について

- 旧町村、研究学園地区、TX沿線地区の分け方は生活の実情と合っていない。
- コミュニティプランに、各地区の世代感や移動手段、家族構成などライフステージごとの特色が見えると良い。

本市の地域まちづくり支援事業におけるまちづくりアドバイザーで、第3次つくば市都市計画マスタープラン・第2次つくば市立地適正化計画策定委員を務めていただいている、筑波大学システム情報系社会学域准教授の藤井さやか先生と研究室の学生のみなさんにもワークショップ（全4回）にご参加いただきました。藤井先生には、ワークショップの終わりに、都市計画の見地から、つくば市のこれからのまちづくりに関するアドバイス等をいただきました。



頂いた意見を踏まえ、今後も都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の検討を進めます。

【お問合せ】 つくば市 都市計画部都市計画課 〒305-8555 茨城県つくば市研究学園一丁目1番地1

電話：029-883-1111(代表) / FAX：029-868-7595 / Mail：ubn010@city.tsukuba.lg.jp（※には@を入れてください）

発行日：令和4年12月／編集・発行：つくば市 都市計画部都市計画課